

道徳学習指導案

日 時：平成20年10月17日

生 徒：更別中央中学校

1年A組34名

指導者：教諭 長尾全雅

1 主題名

「命に値段はつけられるのか」 3-(2) 生命の尊重

2 ねらい

生命の尊さを理解し、かけがえのない自他の生命を尊重する態度を育てる。

3 資料名

「がれきの下携帯に遺書『忘れないで』」 出典 5月20日発行 北海道新聞夕刊記事
「電池が切れるまで」～子ども病院からのメッセージ すずらんの会編 角川文庫

4 題材観

授業の導入として、人間を科学的に分析すると〇〇〇円にしかならないと知らせた。常識として生徒たちは、命は大切なものであるとは分かっている。その大切なはずの命が実は科学的に分析すると意外に安いことに驚くのである。この意外性を授業に引き付ける導入に用い、生徒たちの内面を揺り動かす題材とした。読み物資料としては、5月20日に発刊された、北海道新聞の夕刊記事「がれきの下携帯に遺書『忘れないで』」を用いた。この記事の出来事である、中国の四川省でおこった大地震は、日本のマスコミでも大きく報道されていたので、生徒のほとんどが知っている出来事である。比較的記事自体が短く平易に書かれているので中学1年生でも容易に理解できる内容である。『忘れないで』と携帯に遺書を残した母親の気持ちと愛情を思いはせることにより、命の大切さや母親の愛情を感じさせたい。また、新聞記事を読む前に命の大きさを伝え、授業を深めるために、角川文庫から出版されている『「電池が切れるまで」～子ども病院からのメッセージ すずらんの会編』を用いた。長野県立子ども病院で、病気と闘いながら学ぶ、院内学級の子どもの書いた詩が紹介されている本である。自分たちとそれほど歳が違わぬのに、精一杯病気と闘う子どもたちの言葉から命の大切さを伝えるには最適の教材だと考える。

5 学級の実態

基本的な生活習慣が確立されている生徒が多い。日常の係活動や体育祭・文化祭などの行事にも一生懸命に取り組む姿が見られた。普段の授業は、比較的落ち着いた雰囲気の中で行われているが、白けたような様子もなく取り組んでいる。しかし、1学期は、生徒間での言葉遣いの悪さが時々見られ、それがもとでトラブルが起こったこともあった。現在はトラブルはないが、たまに軽い気持ちで相手が傷つきそうな言葉遣いをする場面が見られる。そのような実態からその都度、言葉遣いや相手を思いやる大切さについては指導してきた経緯があった。

道徳の授業には、冷やかしたり、ふざけたりせず、真剣に向き合い考える生徒が多い。前述のトラブルを始め、やや精神的に幼い部分が見え隠れする一面を持っている。命の大切さや相手を思いやる

態度など計画的に生徒の心を育てる指導を図っていくことが大切であると感じていた。

本時の授業を通して、命の大切さを理解させ、自分と他人を大切にしていける態度を育む一助にしていきたいと考えている。

6 本時の目標

- ・『いのち』は、決して値段をつけることができない尊いものであることを理解する。

7 本時の展開

過程	学 習 活 動	主な発問と予想する生徒の反応
導 入	<p>1 人間に値段を付けることができるか考える。</p> <div data-bbox="375 891 683 1010" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 分析表と実際の成分の実物を見比べる </div>	<p>○全員立ちましょう。みんなが今一番大切な人を、思いうかべてください。思いうかんだら座ります。</p> <p style="text-align: center;">*父・母 *友だち *兄弟</p> <p>○その人を先生に売ってほしいんですけど、いくらだったら売ってくれますか。</p> <p style="text-align: center;">*人間に値段をつけることなんかできない。 *100万円くらい。 *1億円くらい。</p> <p>○人間を科学的に分解すると、こうなります。どんな成分でできているのか見ていきましょう。全部合わせるといくらになると思いますか。</p>
展 開	<p>2 生物の胎児の図を配り、人間の胎児はどれか考える。</p> <div data-bbox="375 1144 683 1408" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> お母さんのお腹の中にいる間にさまざまな進化の過程をへて誕生してくることも理解する。 </div> <p>3 自分が誕生するにあたり何人の先祖のいのちが必要か考える。</p> <div data-bbox="375 1664 683 1924" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px auto; width: fit-content;"> 自分が誕生するにあたり多くの人たちから「いのちのバトン」を受け継いでいることを理解する。 </div> <p>4 資料1「ほたる」の詩を読む。</p>	<p>○手もとの資料は、いろいろな動物の胎児の図です。この中から人間の胎児の図を選んでください。</p> <p style="text-align: center;">*AかなあそれともDかなあ *難しい</p> <p>○もう一枚、いろいろな動物の胎児の図を配ります。</p> <p style="text-align: center;">*う～ん、やっぱり難しい *Aだと思います。</p> <p>○最後に、もう一枚いろいろな動物の胎児の図を配ります。</p> <p style="text-align: center;">*なーんだ Bだったのか・・・</p> <p>○自分から見て20世代前まで遡ると何人の先祖がいると思いますか。</p> <p style="text-align: center;">*100人 *1万人 *50万人など</p> <p>○この詩から、宮越由貴奈さんはどんな小学生だと思いますか。プリントに記入しなさい。</p>

展 開	<p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">宮越由貴奈さんへのイメージをもつ。</p>	<p>*自然を大切にしている。 *病弱である。 *病気をしている。など</p>
	<p>5 資料2「きょうだい」の詩を読む。</p>	<p>○宮越由貴奈さんは、どこでこの詩を書きましたか。 *病院です。 ○何行目でそれが分かりますか。 *4行目です。 *5行目です。</p>
	<p>6 資料3「ゆきなちゃん」の詩を読む。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">宮越由貴奈さんへの人間像に迫る。</p>	<p>○「ゆきなちゃん」の詩を読んで、思ったこと、感じたことをプリントに書きなさい。 *友だち思いだと思います。 *友だちのことが好きなど。</p>
	<p>7 資料4「命」の詩を読む。</p> <p>8 資料5「由貴奈さんのお母さん」の文章を聞く。</p>	<p>○「命」の詩を読んで思ったこと、感じたことをプリントに記入しなさい。 ○資料5「由貴奈さんのお母さん」の書いた文章を読んでみましょう。</p>
終末	<p>9 資料6「がれきの下携帯に遺書『忘れないで』を読む。</p> <p style="text-align: center; border: 1px solid black; padding: 5px;">命の大切さについて共感的に理解する。</p> <p>10 人間に値段を付けることができるか考える。</p>	<p>○資料6「がれきの下携帯に遺書『忘れないで』を読んでみましょう。 ○一番大切な人をえらびましょう。その人に値段を付けてください。</p>

8 本時の評価

- ・『いのち』は、決して値段をつけることができない尊いものであることを理解したか。

9 他の教育活動などとの関連

1年生が学習している総合的な学習の時間の柱の1つに性教育を行っている。本時で学習した道徳の時間は、性教育で学習したことがらを深化することもねらいとしている。

内容 ①オリエンテーション（1時間）

- ・これからの性の学習において学ぶことと、その重要性を理解する。

- ・ 出産時のエピソード、自分の名前の由来など。

②生命の誕生（2時間）

- ・ 生命の誕生の仕組みを知り、命の重さや生きることについて学ぶ。

③思春期の心（1時間）

- ・ 自我の目覚めや異性への関心など、思春期の心の発達や行動の変化について学ぶ。

④身体の発達（1時間）

- ・ 思春期は、自分の体が大きく変化する時期であることを学ぶ。